



ロータリーは
分かちあいの心

国際ロータリー第2630地区

高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2007～2008年度 高山中央RC会長テーマ

第751回「**りく りょく きょう しん**
戮 力 協 心」 H20・4・7

〈点 鐘〉会長 松之木 映一さん
〈ソング〉奉仕の理想
〈四つのテスト〉会長 松之木 映一さん

〈出席報告〉
本日の出席…35名 出席率…81.40%
前々回の補正…36名 出席率…83.72%

〈ゲスト紹介〉
国際ロータリー第2630地区
地区広報委員長 平野 順一様
(大垣RC)

〈幹事報告〉幹事 永家 将嗣さん
◎インターアクト委員会より
・教師部会開催のご案内
日時：5月18日(日) 13:00～
会場：岐阜会館
登録料：4,000円
〈高山市社会福祉協議会より〉
・地域福祉活動計画書の送付
〈麻薬・覚せい剤乱用防止センターより〉
・ニュースレターNo77
〈受贈誌〉
・不破の関RC ・不破RC

〈会長の時間〉松之木 映一さん
皆様こんにちは、
本日の例会は、私の58歳の誕生日と重なりました。
洋服屋、食事処、保険屋、自動車販売、他、色々な所から誕生日を祝うハガキを頂きました。よく日にちを調べているなあと感じました訳ですが、その中の一通を紹介させていただきます。
4月7日生れの有名人は俳優では、ジャッキーチェーンです。1979年にはアニメの機動戦士「ガンダム」が放送開始された日です。「これからの1年松之木さんとまわりの皆様にとって幸せいっぱい毎日でありますように!!」こんな心温まるハガキを読みますと58歳という年、算盤でいうご破算で願いましては…ではないですが、又、ゼロからのスタート頑張らなくちゃという気持ちにさせていただきました。
来週14日は飛騨高山の伝統行事高山祭で休会です。本日平野順一地区広報委員長様に来て頂いていますので少し

高山祭の話をさせていただきます。
高山祭は、「春の山王祭」、「秋の八幡祭」の二つを指す総称です。その起源は16世紀後半から17世紀とされ、大切に受任がされてきた豪華な屋台が最大の呼び物となっている例祭です。日本の三大美祭の一つとされています。

春は、4月14～15日、秋は10月9～10日で春には12台、秋には11台の屋台が引き揃えられます。祭りは昔の装束をまとった総勢数百名で、神輿や雅楽、獅子舞、鬨鳴楽、袴姿の警固で各町内をまわります。その中で屋台のからくり奉納が行なわれます。春は3台(三番叟、石橋台、龍神台)秋は1台(布袋台)です。

提灯を灯した夜祭りが、最大の見所です。一例に並び終えた屋台が引きわかれ歌「高い山」を歌いながら各屋台蔵に帰っていく姿は何ともいえない祭り情緒です。しかし雨が降ると全部中止、一番困るのは観光客もそうですが、張り切っている屋台組衆です。雨が降ってなく今にも降りそうな時の判断も大変困ります。山王祭では宮本、八幡祭では年行事と言われる屋台組の代表者が祭りを仕切る訳ですので、責任は重大です。もう一つの困っている事は屋台組の人数不足で、短大生などアルバイトを雇わなければ、祭り行列、屋台曳きができない所も出ています。中には、氏子の祭りか、観光客のための祭りかとはやく人もいますが、重要文化財としての屋台、この屋台が観光都市高山の売りの一つですので、高山市、高山観光協会、屋台保存会、など現場での悩みなど色々把握して良いものはずっと残していければと思います。

〈本日のプログラム〉広報・雑誌委員長 岡崎 壮男さん
本日は、広報・雑誌委員会担当例会ということで、地区広報委員長の平野順一様をお迎えしてロータリーの広報に関して卓話をいただきたいと思ひます。
その前に広報・雑誌委員会として4月号のロータリーの友より、私が一読していただきたい記事は、横書きの40ページで第2730地区の地区だよりです。広報活動の一環として具体的に移動パネル展を地区内で5ヶ月間開催している旨が報告されています。
本日の卓話とともにロータリーの広報について参考にしていただきたいと思ひます。
それでは、平野様よろしくお願ひ致します。

〈卓 話〉国際ロータリー第2630地区
地区広報委員長 平野 順一様
(大垣RC)

創 立 1991年5月20日

◆例会日 / 毎週月曜日・PM12:30～
◆例会場 / ひだホテルプラザ3F・☎(0577) 33-4600
◆事務局 / 高山市花園町1-15 丸越商事4F
/ ☎(0577) 36-0730 / FAX (0577) 36-1488
/ ホームページ http://www17.ocn.ne.jp/~t-c-rc/
◆会 長 / 松之木 映一 ◆幹 事 / 永家 将嗣

四つのテスト

言行はこれに照らしてから
1 真実か どうか
2 みんなに公平か
3 好意と友情を深めるか
4 みんなのためになるか どうか



RIテーマと広報活動

皆さん今日は、今日はまず、当2630地区のガバナー・田中 稔子さんについてお話しします。田中さんは三重県の桑名北ロータリークラブ所属、職業分類は幼稚園です。米国での生活の後、現在は学校法人聖華学園理事長であり、マリア・モンテッソーリ幼稚園の園長を務められておられます。ロータリー歴は1998年に桑名北ロータリークラブに入会、2002年に会長就任、そして現在RI2630地区ガバナーとしての仕事を実に見事にこなしておられます。地元の各クラブが一致協力して女性ガバナーと女性代表幹事を盛り上げておられます。何はともあれ、これこそロータリー精神の友情の心ではないでしょうか。

今年度のRI会長のウィルフリッドJ.ウィルキンソン氏は年度テーマを「ロータリーは分かちあいの心」ROTARY SHARES とされました。RI会長は年度のテーマを選択し、ネクタイのデザインを決める事が最大の悩みだとも言われるくらい大きな問題なのです。それは現在のロータリーの有様を観察し世界を視野に入れ、ロータリアンの動向をよく観察し、今こそロータリアンに目覚めてほしいポイントを簡潔でわかりやすい言葉で表現しなければいけません。

しかし、今年度のテーマ「ロータリーは分かちあいの心」ROTARY SHARES はどうも、わかりにくい。といった声もありました。確かに「善意は先ずあなたから」「友達になろう」等といったテーマはわかりやすいと思います。「ロータリーは分かちあいの心」というと何をどうすべきか、という声が出るのも無理のない事です。しかしこれと

似たテーマは過去にも沢山あったのです。難解だったのはむしろ2001～2002のリチャードD・キング会長の時の「人類が私たちの仕事です」ではなかったかと思えます。しかしこの中にも「このロータリーの魔術を他の人に分かち与えて下さい。」という言葉があるのです。

RIの年度のテーマにはその年によって、わかりやすい言葉も、難しい言葉もありますが、要するにロータリーの持つ超我の奉仕の理念をいかに具現化するかにあります。そのためにロータリーの四つの綱領があり、四つのテストがあります。私たちはロータリアンとして今年度は「分かちあいの心」を充分にかみしめながら日々のロータリー活動をしていきたいものです。

昨夏、広報委員会主催で女性会員の集いを開きました。テーマは「ロータリーに思う」です。この地区に日本で最初の女性ガバナーが誕生しましたのでこれを機に、女性会員自身から直接お聞きする事にしました。

出席者からはロータリーに対する熱い思いが語られ、その中でロータリーの素晴らしさを広報できる最高の適任者は実は皆さん方一人一人である事を再認識しました。それぞれの日常生活のなかで各ロータリアンがロータリアンとしての誇りある行動をする事によってロータリーの素晴らしさが認知されていくと考えております。

〈お祝い〉親睦活動委員長 清水 幸平さん

●会員誕生日

- 松之木映一さん S25年4月 7日
- 鶴田 広喜さん S24年4月18日

●夫人誕生日

- 糸藤 和夫さん 由起子さん 4月 3日
- 三輪 義平さん 美代子さん 4月22日

●会員結婚記念日

- 下田 徳彦さん H11年4月 4日
- 清水 幸平さん S56年4月 5日
- 岩本 正樹さん S61年4月 6日
- 橋本 修さん S49年4月 7日
- 漆山喜久雄さん S60年4月 8日
- 富士井忠男さん S43年4月20日

〈会報委員会 新宮 一郎〉

〈ニコニコBOX〉

本日は、お世話になります。

2630地区 地区広報委員長 平野 順一さん

本日地区広報委員長の平野様には、違い所お越し頂きありがとうございます。

また、卓話をよろしくお願い致します。

理事、役員一同

地区広報委員長の平野様、お忙しいところお越し下さいましてありがとうございます。

本日の卓話をよろしくお願い致します。

岡崎 壮男さん

地区広報委員長の平野様のご来訪を歓迎致します。本日の卓話よろしくお願いたします。

溝原 清嗣さん

平野地区広報委員長の御来訪を歓迎致します。

地区協議会の合同分科会よろしくお願いたします。

鶴田 広喜さん

本日の例会は私の誕生日と重なりました。会長職の時です。偶然とはいえ思い出の例会になります。

今日私の子供達から誕生日プレゼントをもらいました。それを見ていた妻は、「今日誕生日だったの？」と大変驚かいです。言葉……

皆様の家庭はいかがですか

松之木 映一さん

飛騨自動車学校では、労働局の指定のもとでフォークリフト運転技能講習を開始します。

平日コースと土・日コースがあります。

どうかご利用の程お願いします。 清水 幸平さん

後期高齢者医療制度が始まりました。

受つけで、「何じゃ、わじゃ、知らん」と言うお年寄りが多くて困っています。お年寄りのいらっしゃるお家で医療機関に通院されている場合には、新しい保険証を持っていくように言って下さい。

高木 純さん